

市民委員会資料

議案第165号

平成26年度川崎市一般会計補正予算

資料1 エコタウン等における資源循環社会と共生した
低炭素地域づくり事業概要

資料2 川崎エコタウンにおける廃プラスチック油化ビ
ジネスに係るF S調査事業概要

経済労働局

平成26年11月18日

エコタウン等における資源循環社会と共生した低炭素地域づくり事業概要

補助事業の概要

エコタウン等を有する自治体及びエコタウン等において循環産業に取り組んでいる事業者を対象に、**循環資源の循環利用と低炭素化の両方を実現する先進的なモデル地域を形成するためのFS(フーズリデュース・スタディ)調査**又は**事業化計画策定調査**に対する補助事業

事業の要件

FS調査を行う事業(地方公共団体向け)

- ・自治体が策定した又は策定されることが見込まれるエコタウン等の計画に基づいた事業計画を策定すること。
- ・事業を行うおととする地域が、静脈施設が集積した地域であること。
- ・計画している事業内容が、地域の都市計画と整合が図られていること。
- ・将来的に施設及び設備の整備を行う事業であること。

補助金の規模

FS調査を行う事業(地方公共団体向け)

補助対象上限金額:**10,000千円** (補助率 100%)

スケジュール(予定)

補助事業の全体スケジュール

- ◎ 平成26年9月上旬 : 国による公募の開始
- ◎ 平成26年9月末 : 公募締切
- ◎ 平成26年10月 : 採択者決定
- ◎ 平成26年10月～平成27年3月 : 事業実施
- ◎ 平成27年3月 : 補助金額確定

市の対応

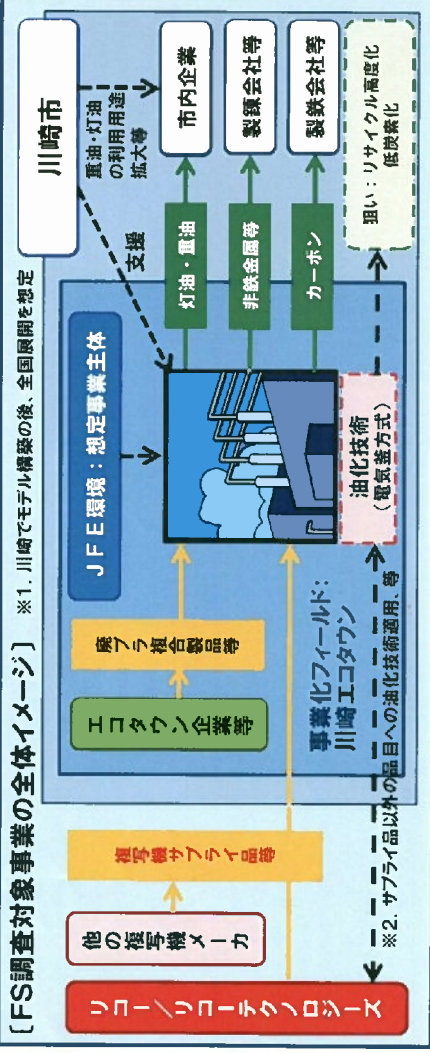
- ◎ 平成26年9月 : 申請書を国へ提出
- ◎ 平成26年10月 : 川崎市の案件採択
- ◎ 平成26年12月 : 補正予算を上げ
- ◎ 平成26年12月～平成27年3月 : FS調査等実施
- ◎ 平成27年3月 : 報告書とりまとめ

川崎エコタウンにおける廃プラスチック油化ビジネスに係るFS調査事業概要

調査実施背景

- ① 川崎市は、平成9年に経済産業省(当時の通商産業省)から臨海部全体を対象エリアとして、**全国第1号のエコタウン地域の認定**を取得している。
- ② 川崎エコタウン地域内の静脈施設設置企業の中には、循環資源の調達や再生資源の供給先の確保が困難となるなどの問題に直面している企業も存在し、**各社、様々な側面から今後の事業展開について検討**がされている。
- ③ 川崎エコタウン地域内でリサイクル事業を推進する**JFE環境(株)**は、**㈱リコーとの連携**により、事業主体として「**廃プラスチックの油化ビジネス**」に取り組むことを検討している。
- ④ **㈱リコー**は、**現在サーマル(熱回収)処理されている複写機サプライ品**(トナーカートリッジ・ポトル等)を「**油化**」することでケミカルリサイクルし、**灯油・重油・カーボン**を回収する**新技術を開発中**である。
- ⑤ これらの新技術の導入は、**複合プラスチック製品全般へのリサイクル技術の適用**が期待されており、**事業採算性確保が可能**な事業モデルを検討していく価値があり、この**事業の実現が進むと、川崎エコタウン全体の資源循環の取組の促進と市内環境産業の振興が促進されること**になる。

FS調査の概要



【調査実施主体】 川崎市

【協力事業者】

- **JFE環境(株)** (事業実施主体(想定))
 - ⇒ 事業実施主体として、川崎のエコタウン地域内での廃プラスチックの油化ビジネス事業化可能性調査(受入、処理、販売)の実施
- **㈱リコー、日本フューチャーエコシステムズ(株)**
 - ⇒ 廃プラスチックの油化技術高度化に向けた技術の実現可能性調査の実施
- **㈱NTTデータ経営研究所**
 - ⇒ 事業実施による低炭素化・地域活性化等の効果測定の実施

事業による効果

- 廃棄物処理技術を活用した川崎発のグリーンイノベーションの推進
- 川崎エコタウン地域立地企業における廃棄物処理の高度化及び低炭素化の実現
- 川崎エコタウン地域内での資源循環の促進と市内環境産業の振興